

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震時に震度計で観測した  
各地の揺れの状況について

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の規模はマグニチュード9.0と非常に大きく、巨大な断層がずれ動く時間も長かったと考えられ、各地で地震の揺れは長く続きました。今般、震度5強以上を観測した気象庁の観測点のうち以下の地点について、本震発生時の震度計の観測データから、本震の揺れの時間を調査しましたのでお知らせします。

調査した地点	震度	震度4以上を観測した時間(※)
五戸町古館	5強	約180秒
盛岡市山王町(盛岡地方气象台)	5強	約160秒
大船渡市大船渡町(大船渡特別地域気象観測所)	6弱	約160秒
石巻市泉町(石巻特別地域気象観測所)	6弱	約160秒
仙台宮城野区五輪(仙台管区气象台)	6弱	約170秒
福島市松木町(福島地方气象台)	5強	約150秒
白河市郭内(白河特別地域気象観測所)	5強	約140秒
いわき市小名浜(小名浜特別地域気象観測所)	6弱	約190秒
水戸市金町(水戸地方气象台)	6弱	約130秒
宇都宮市明保野町(宇都宮地方气象台)	5強	約120秒
久喜市下早見	5強	約120秒
千葉市中央区中央港(千葉特別地域気象観測所)	5強	約130秒
東京千代田区大手町(気象庁)	5強	約130秒
横浜中区山手町(横浜地方气象台)	5強	約130秒

※10秒毎に10秒間の地震波形データから推定される計測震度の時間変化を求め、揺れの時間を推定しました。詳細は別紙のとおり。

(参考)

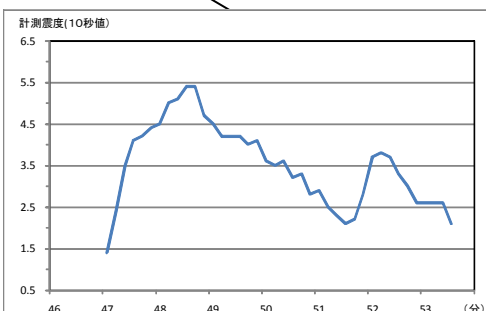
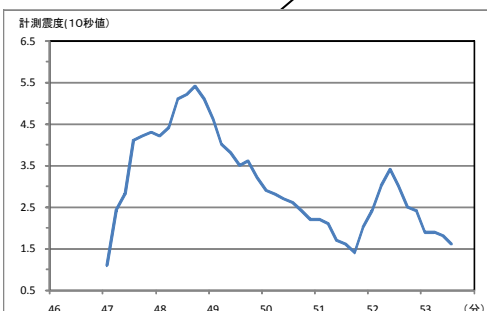
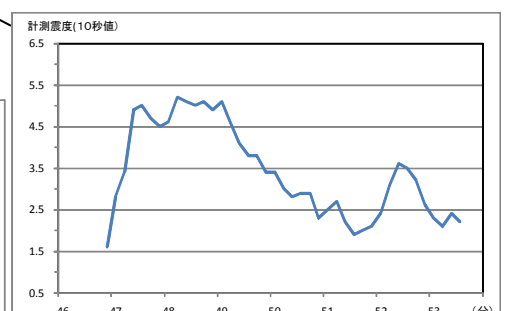
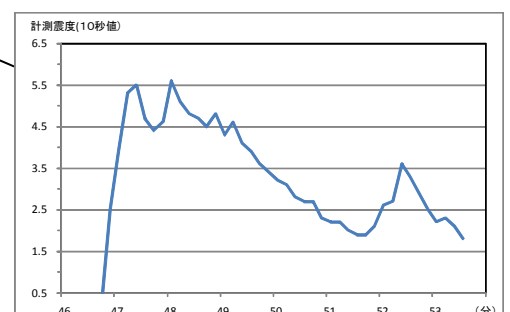
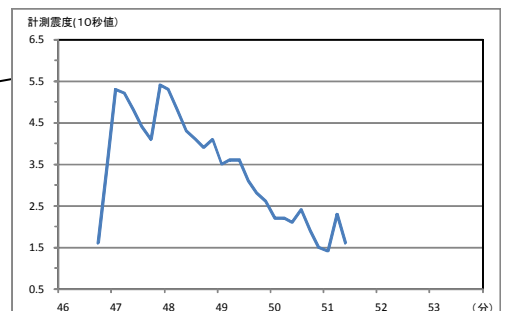
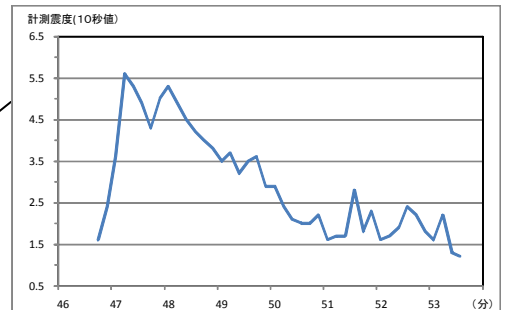
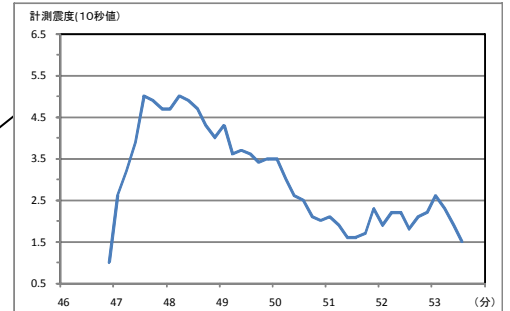
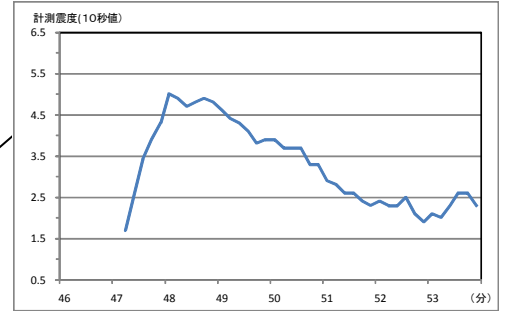
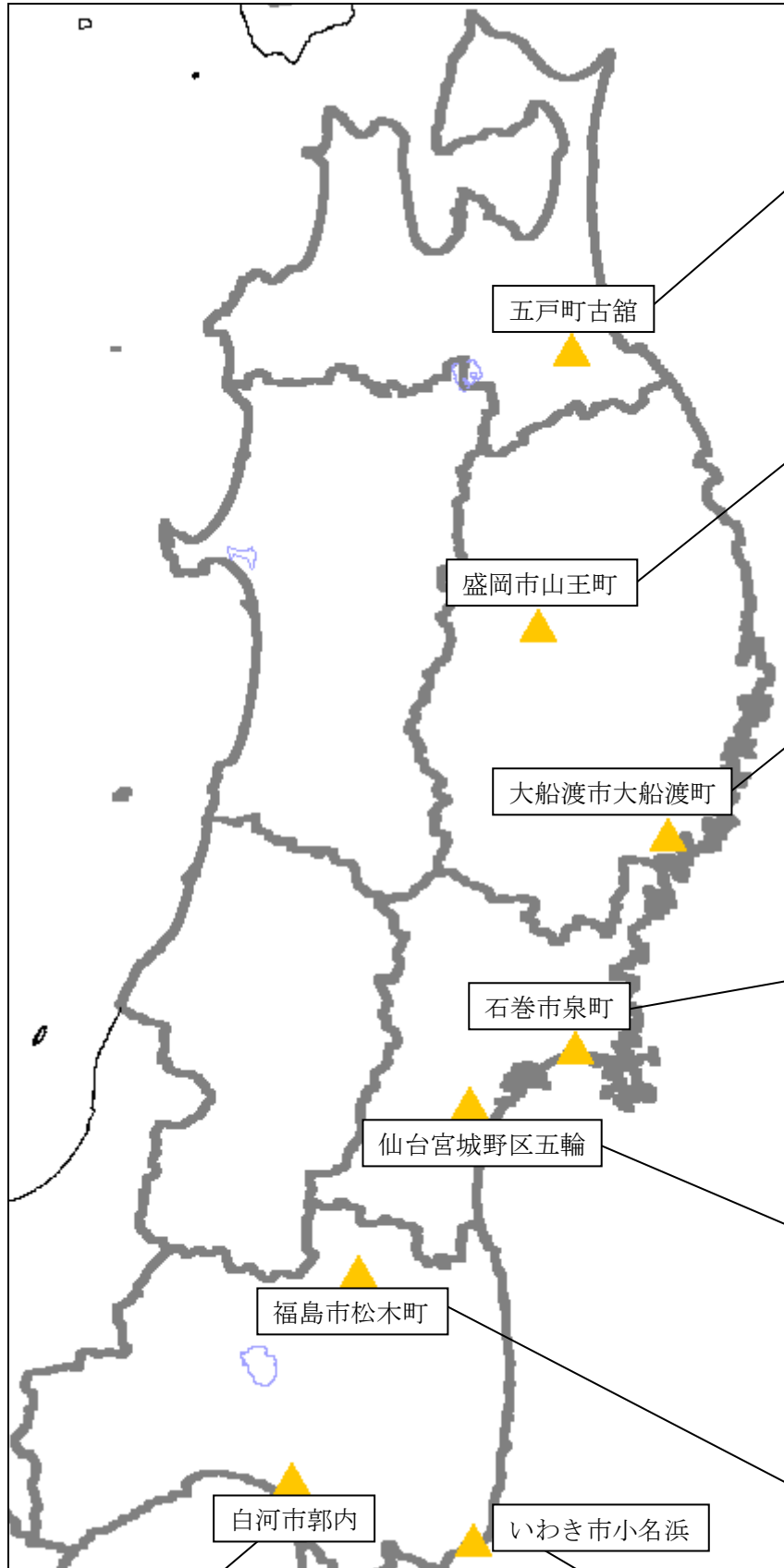
震度は地震発生から1分間毎に1分間の地震波形データから計算した計測震度に基づいて求めます。気象庁が発表する震度はこの1分毎の計測震度の最大値を震度階級に直したものです。10秒毎に推定した震度は、発表される震度とは使用する地震波形データの区間や長さが異なるため、値が一致しないことがあります。

気象庁震度階級表

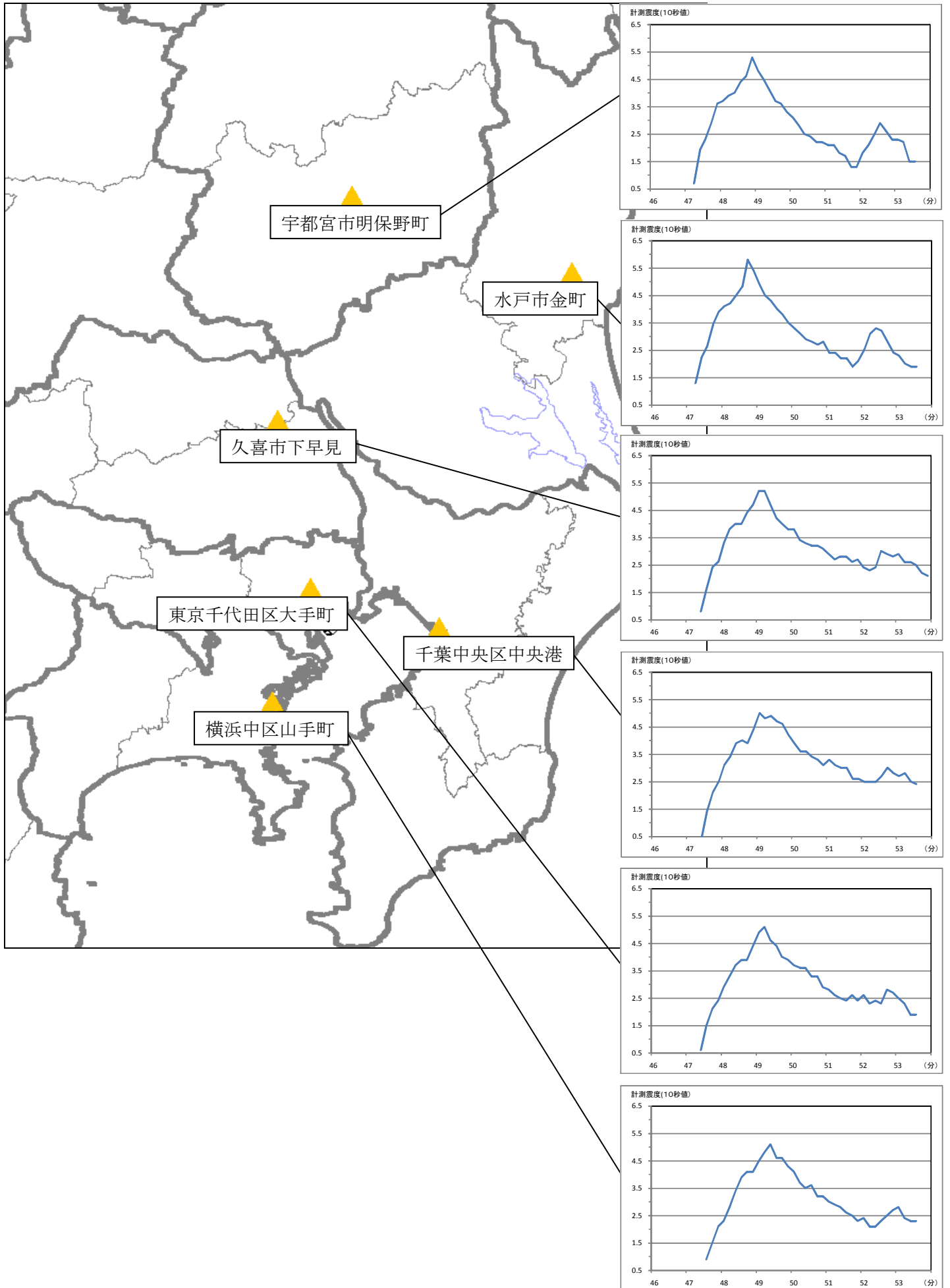
震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5未満	5弱	4.5以上 5.0未満
1	0.5以上 1.5未満	5強	5.0以上 5.5未満
2	1.5以上 2.5未満	6弱	5.5以上 6.0未満
3	2.5以上 3.5未満	6強	6.0以上 6.5未満
4	3.5以上 4.5未満	7	6.5以上

# 調査した震度観測点（東北地方）

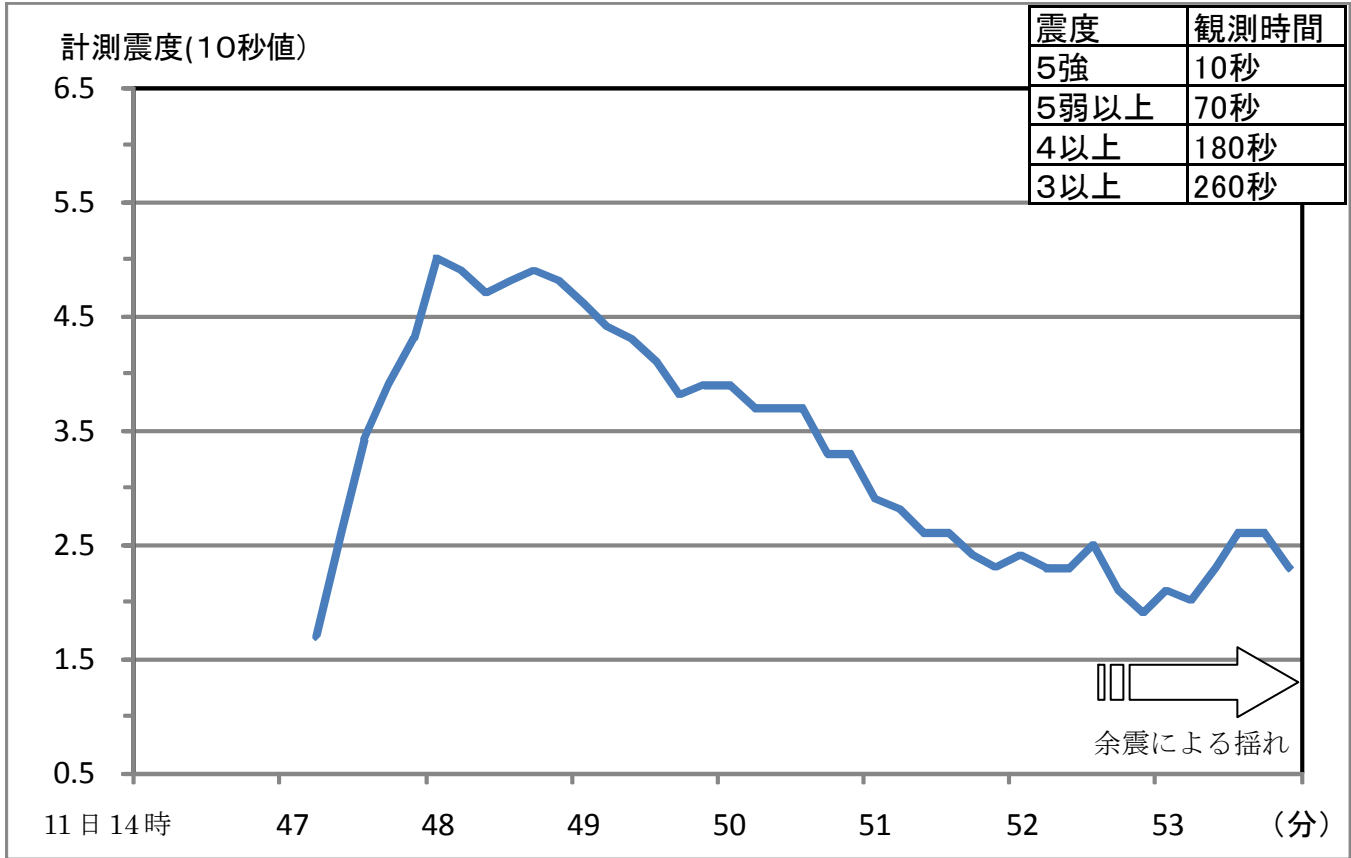
(別紙)



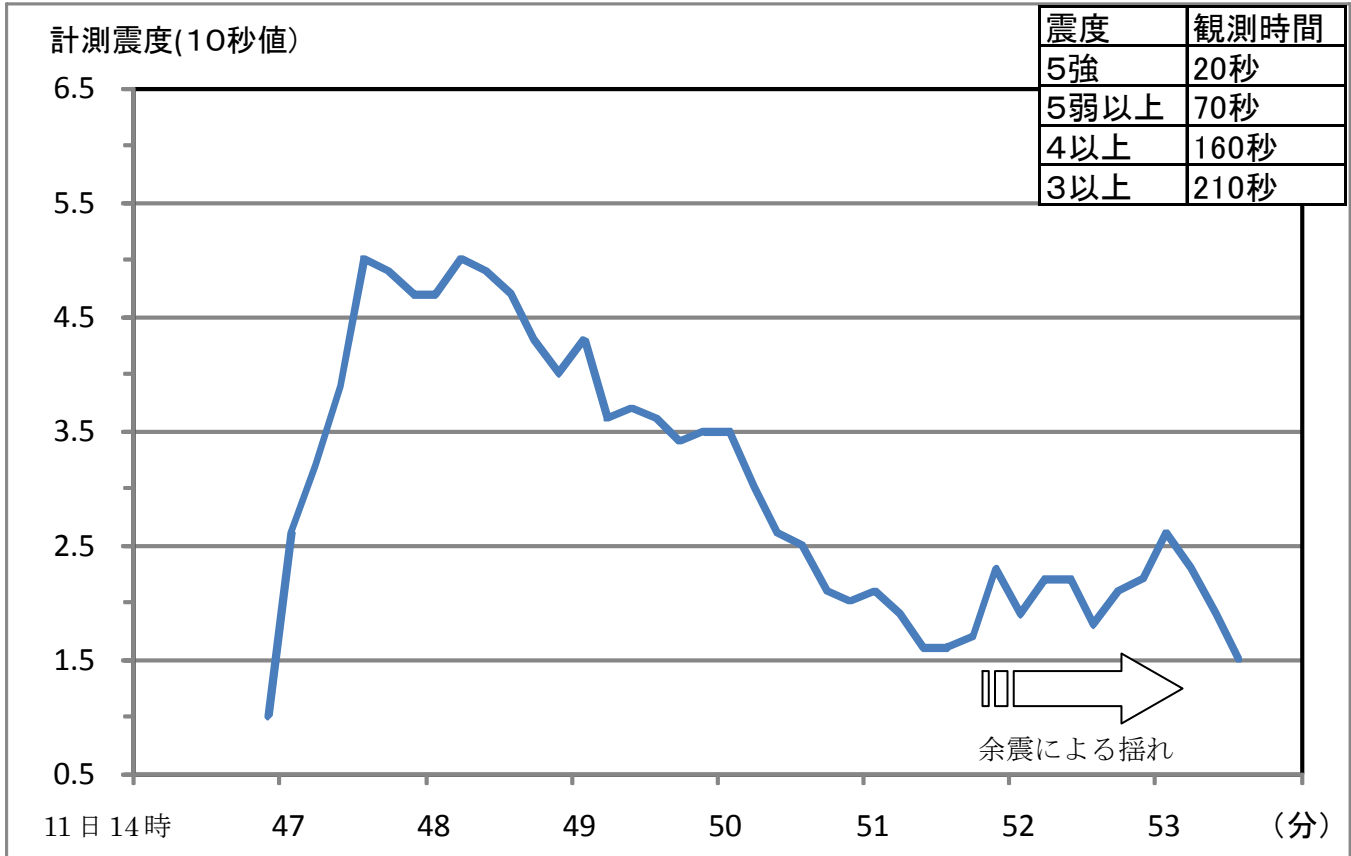
# 調査した震度観測点（関東地方）



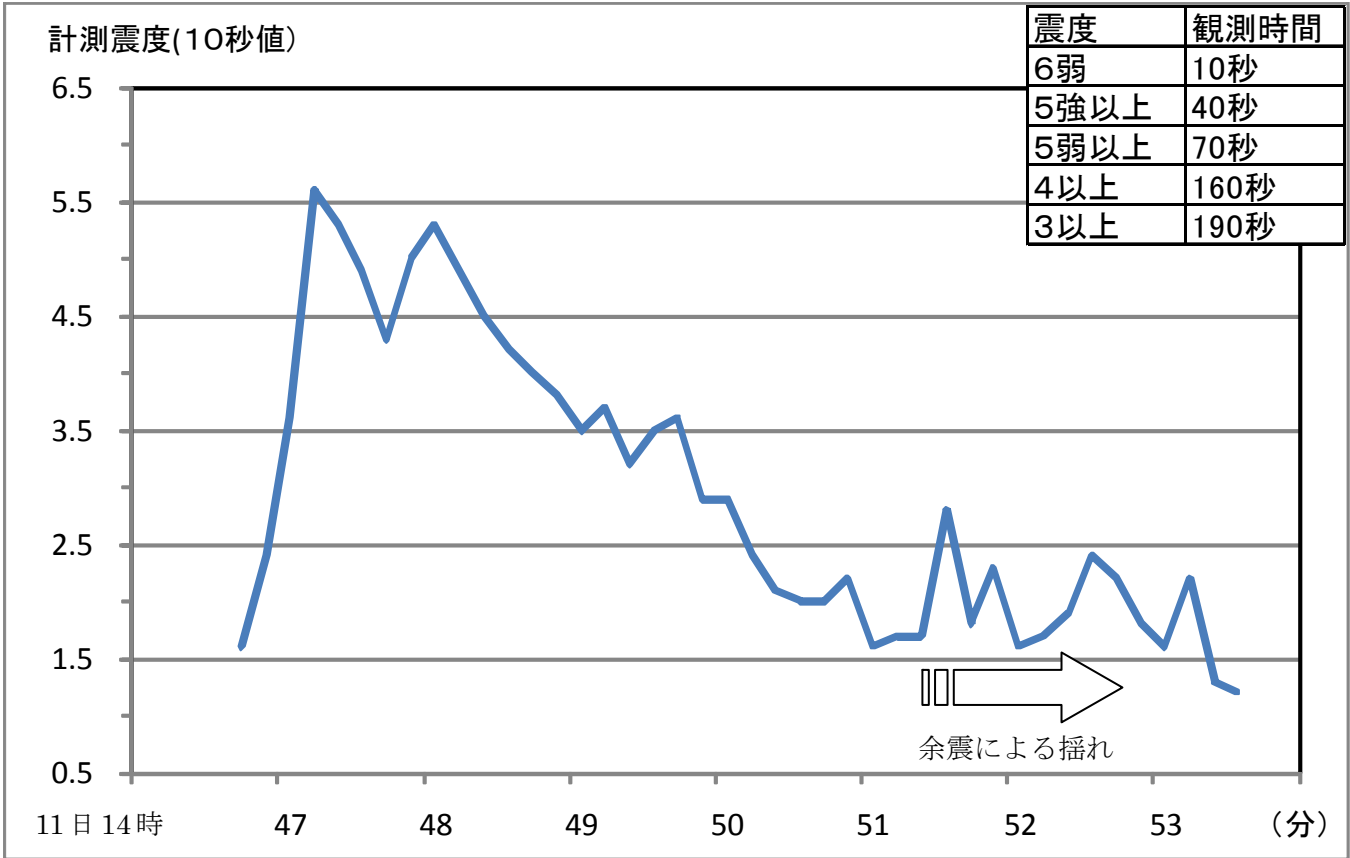
五戸町古館（このへまちふるだて）



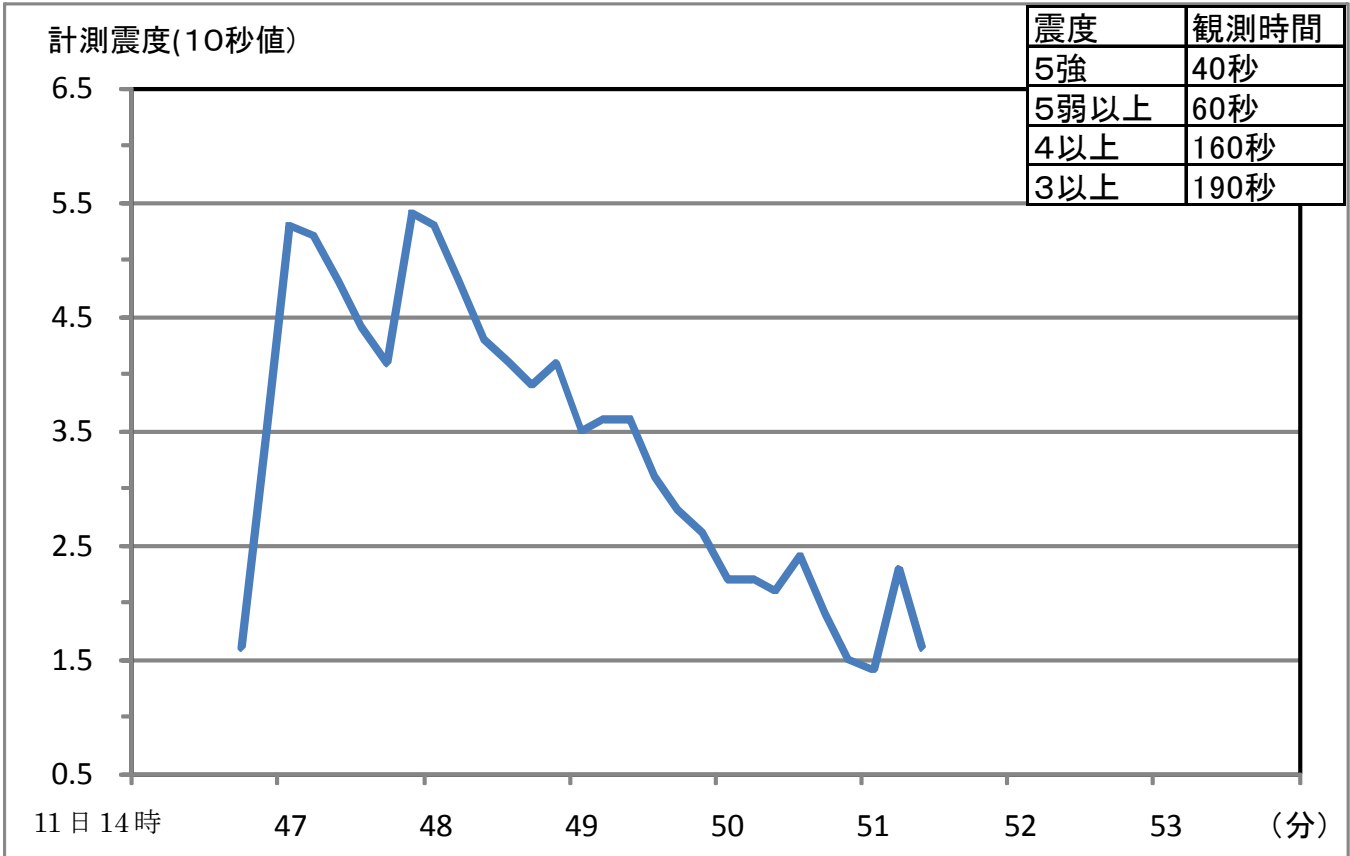
盛岡市山王町（もりおかしさんのうちょう） 盛岡地方気象台

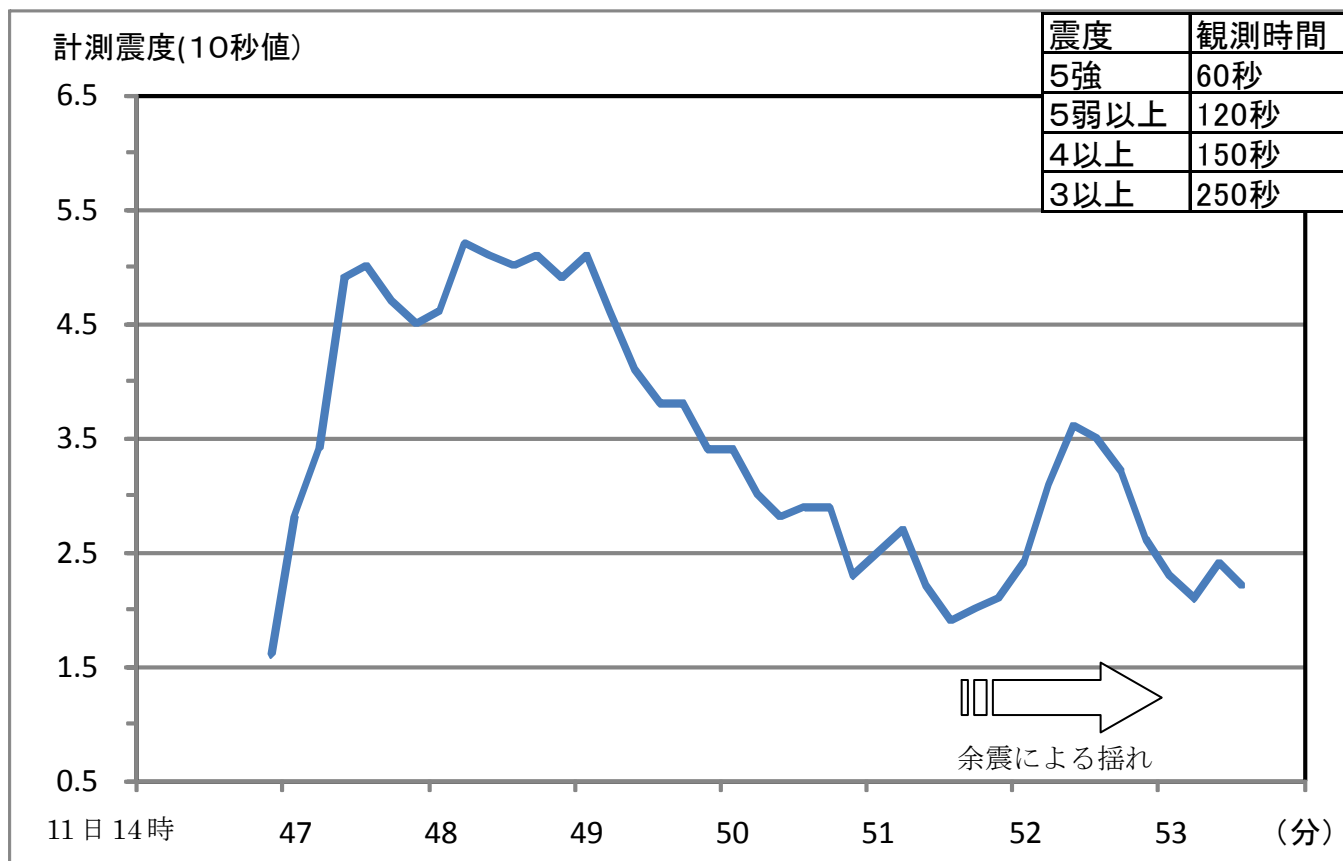
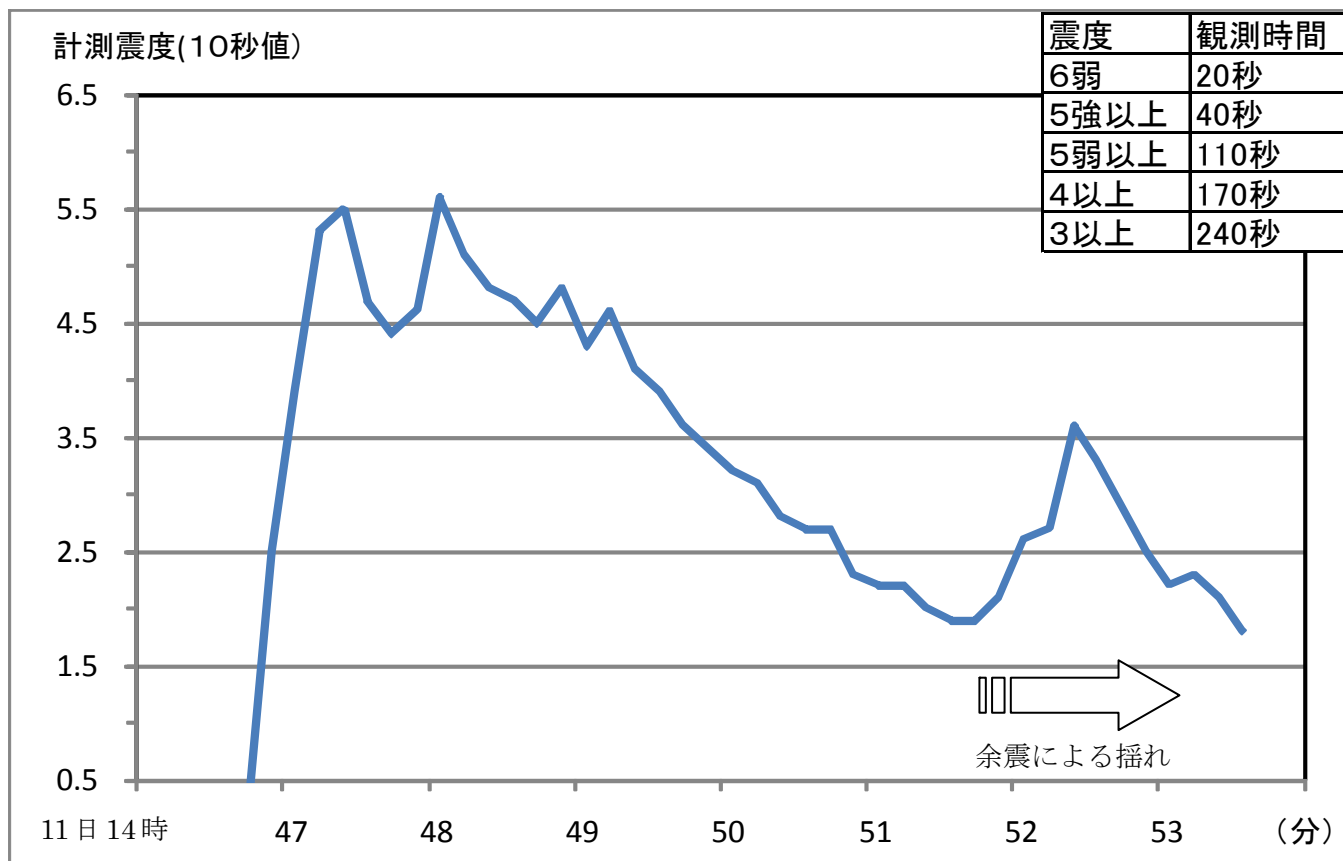


大船渡市大船渡町（おおふなとしおおふなとちょう） 大船渡特別地域気象観測所

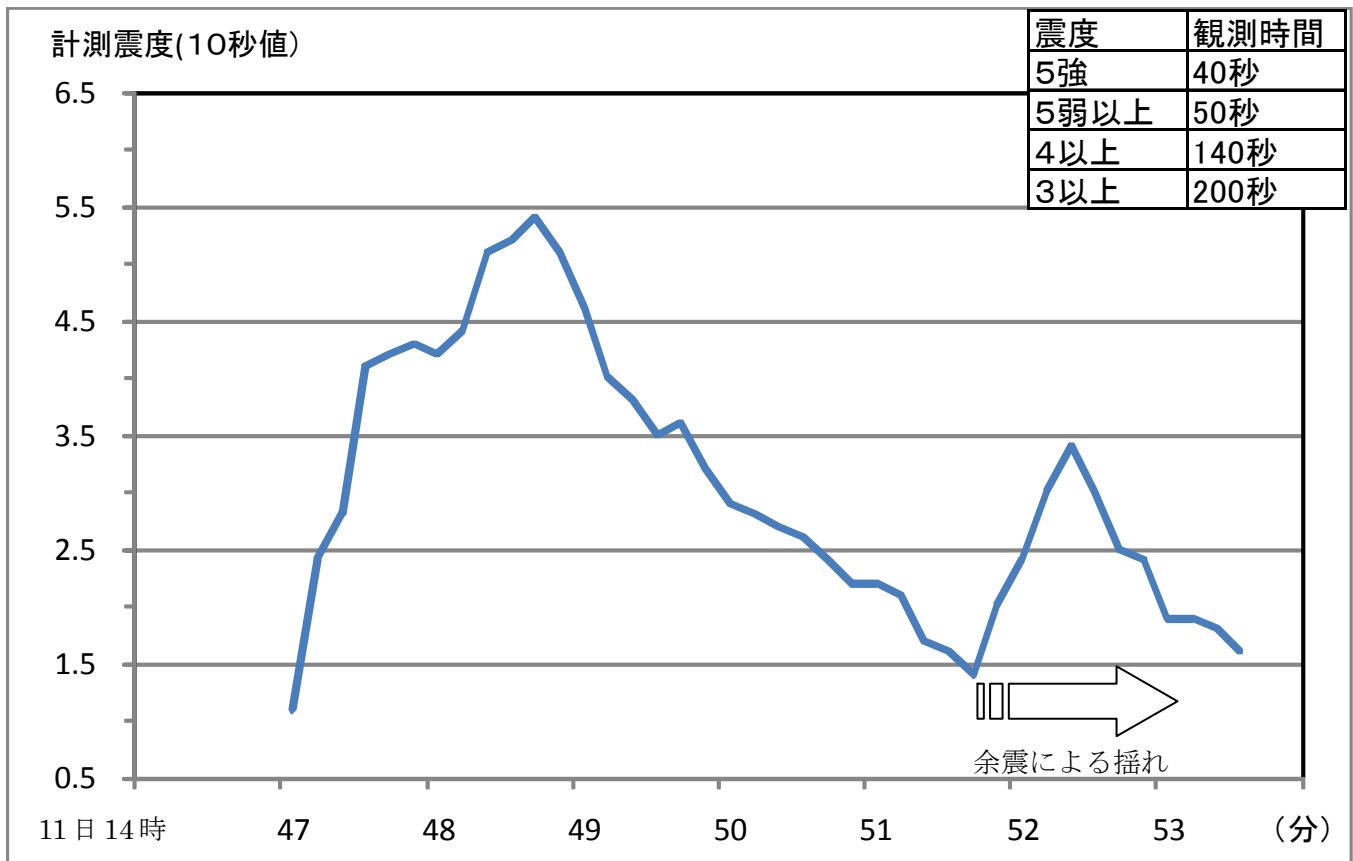


石巻市泉町（いしのまきしいずみちょう） 石巻特別地域気象観測所

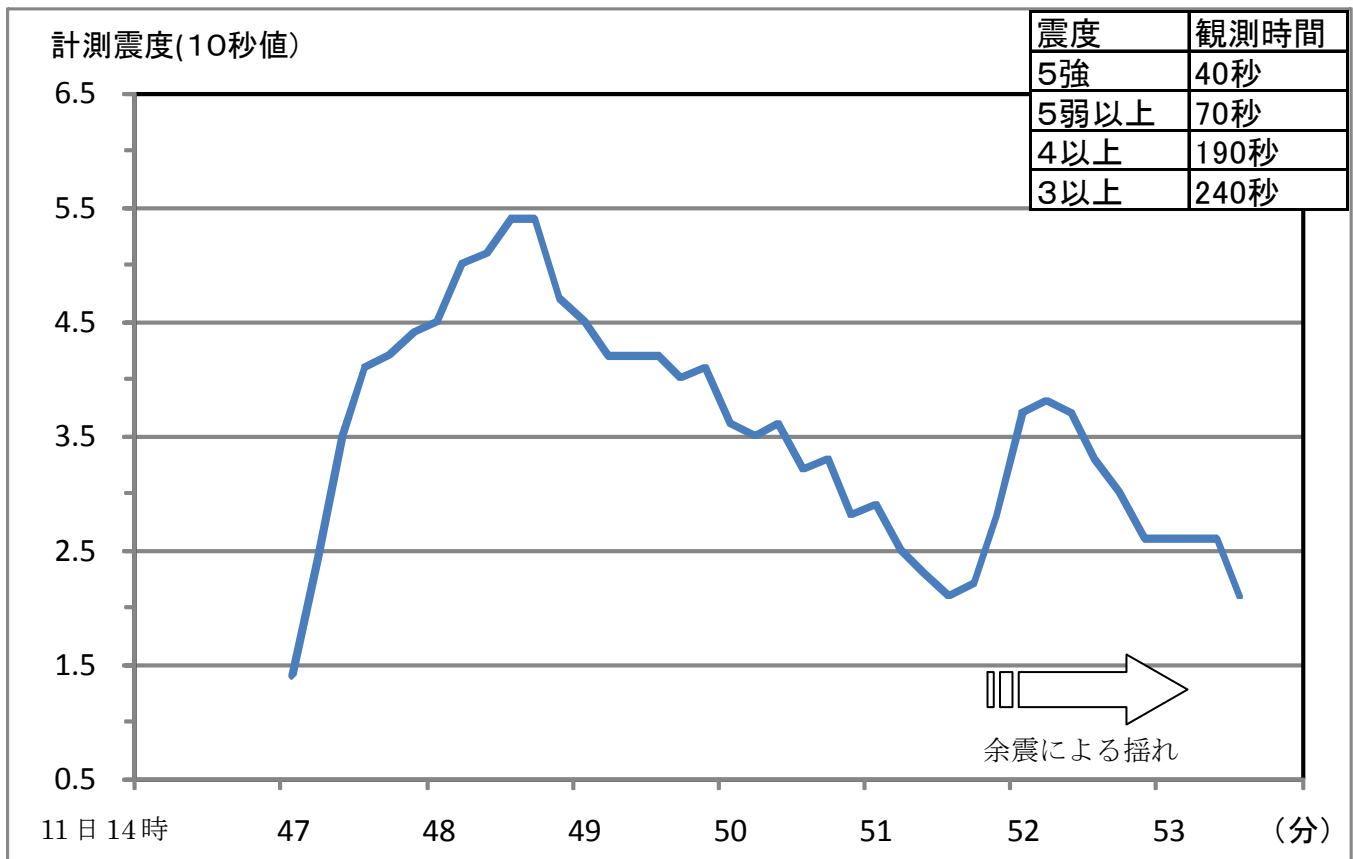




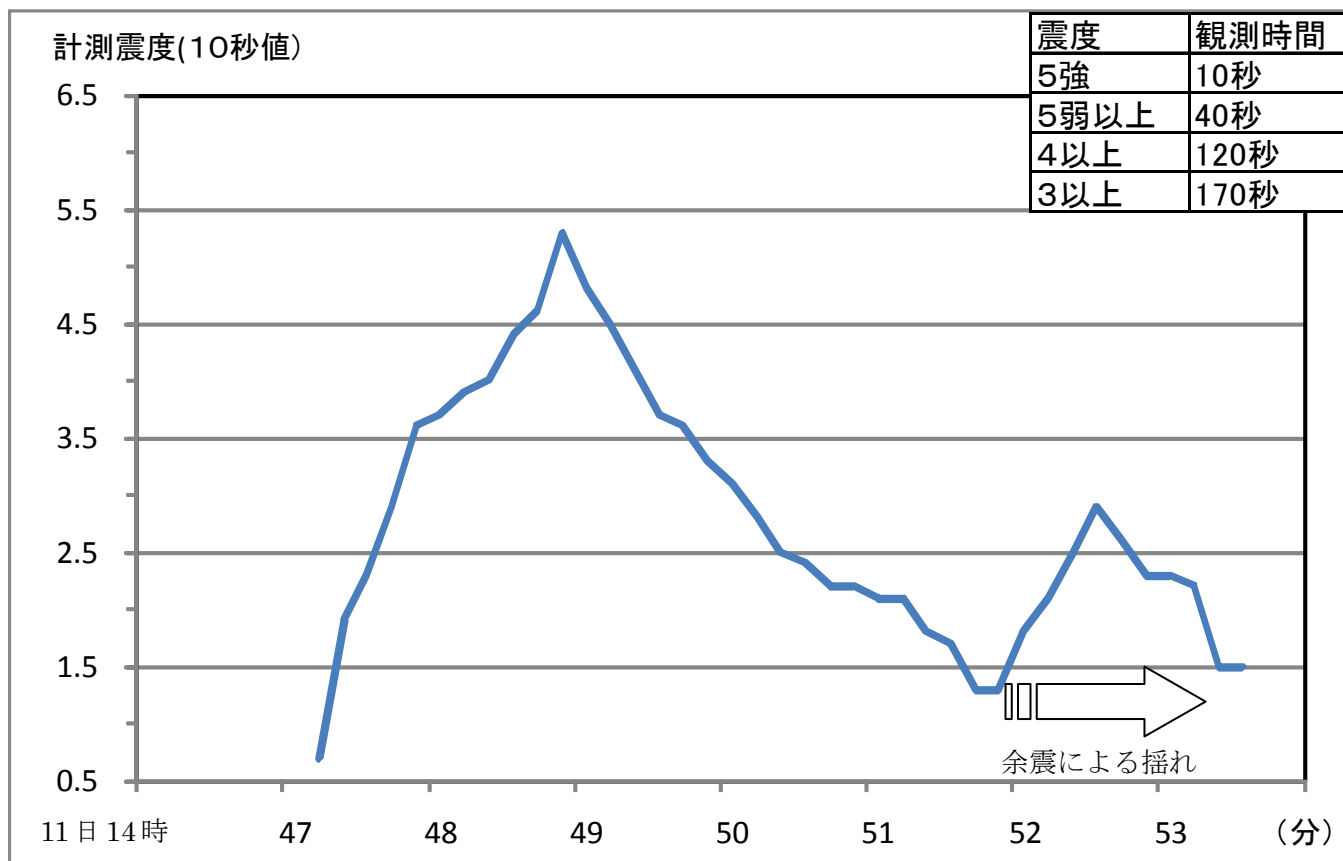
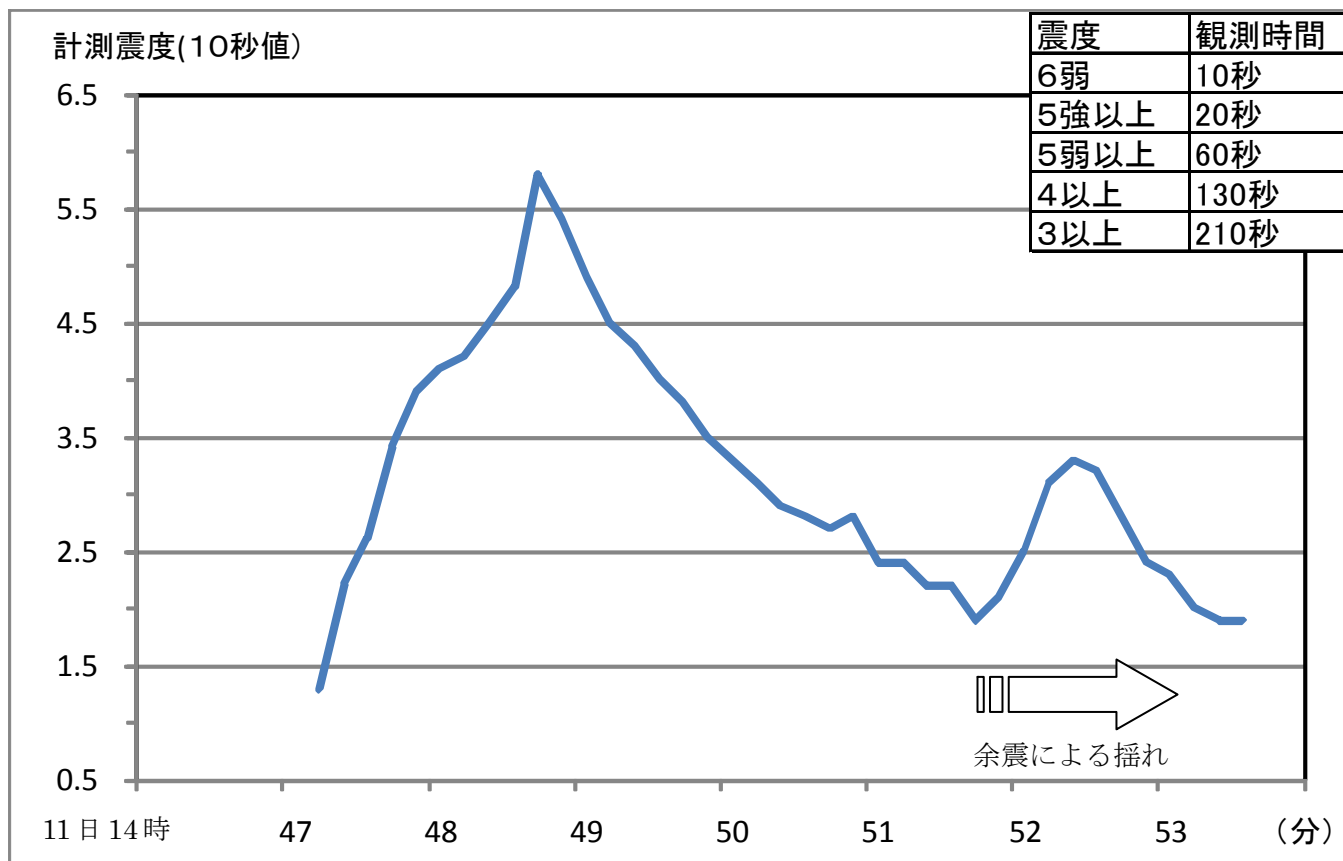
白河市郭内（しらかわしかくない） 白河特別地域気象観測所



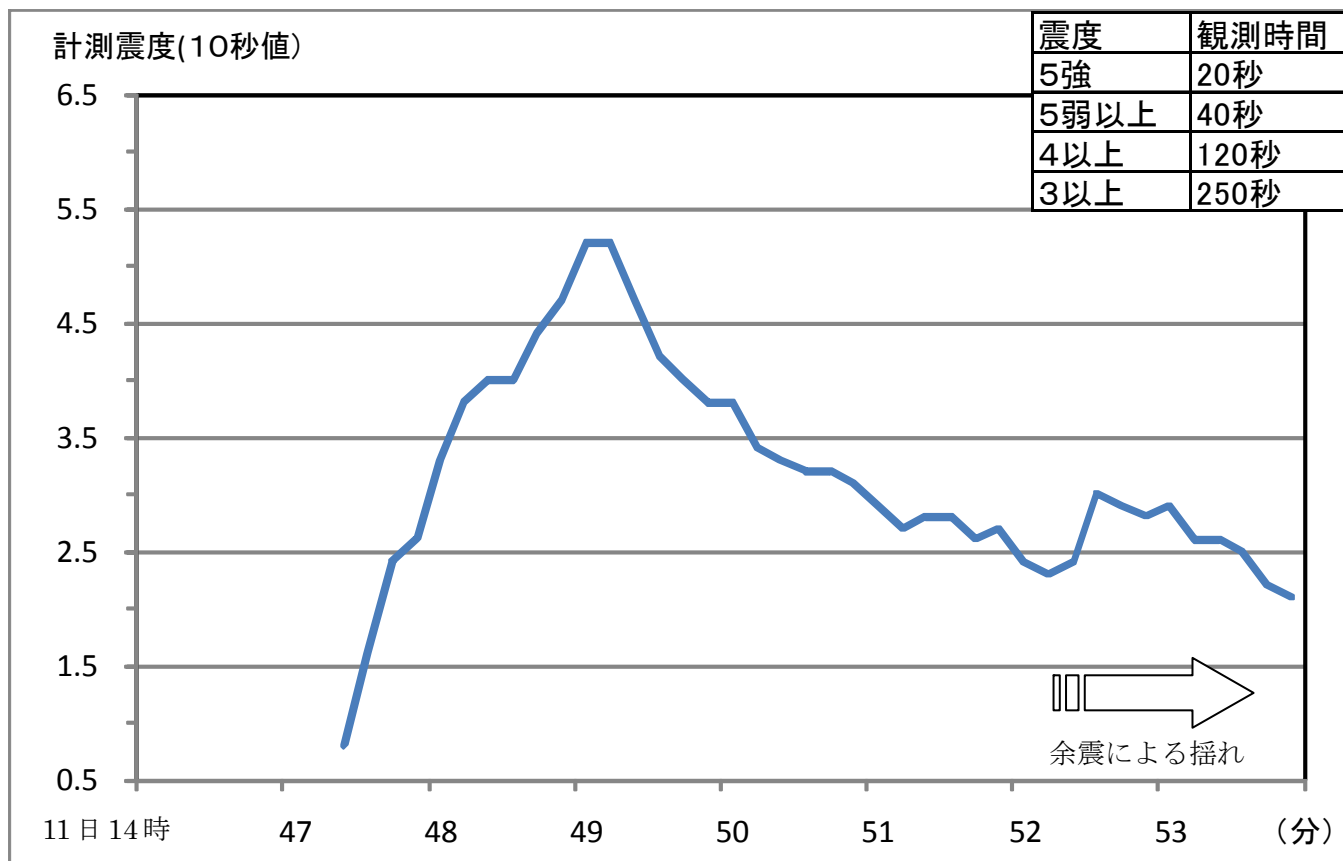
いわき市小名浜（いわきしおなはま） 小名浜特別地域気象観測所



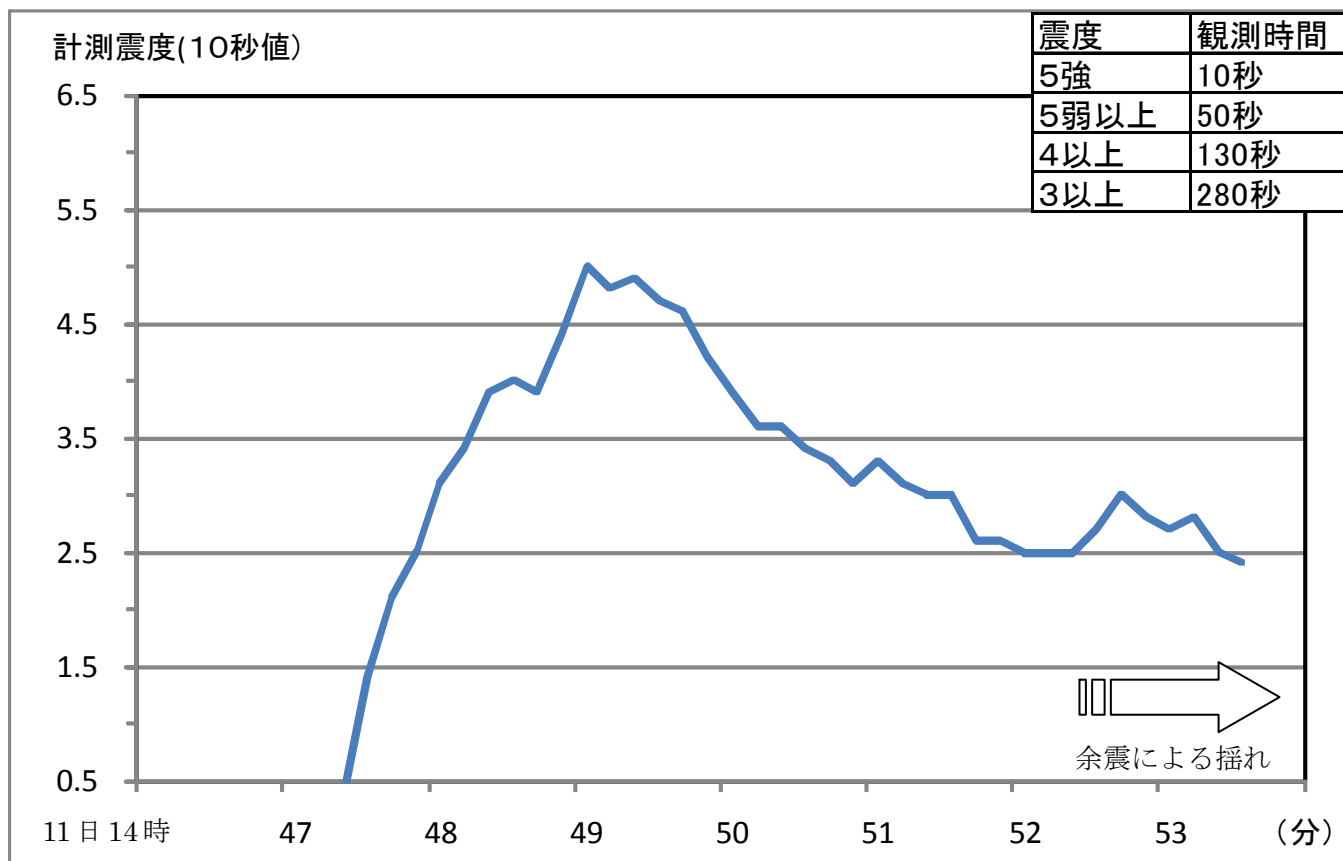


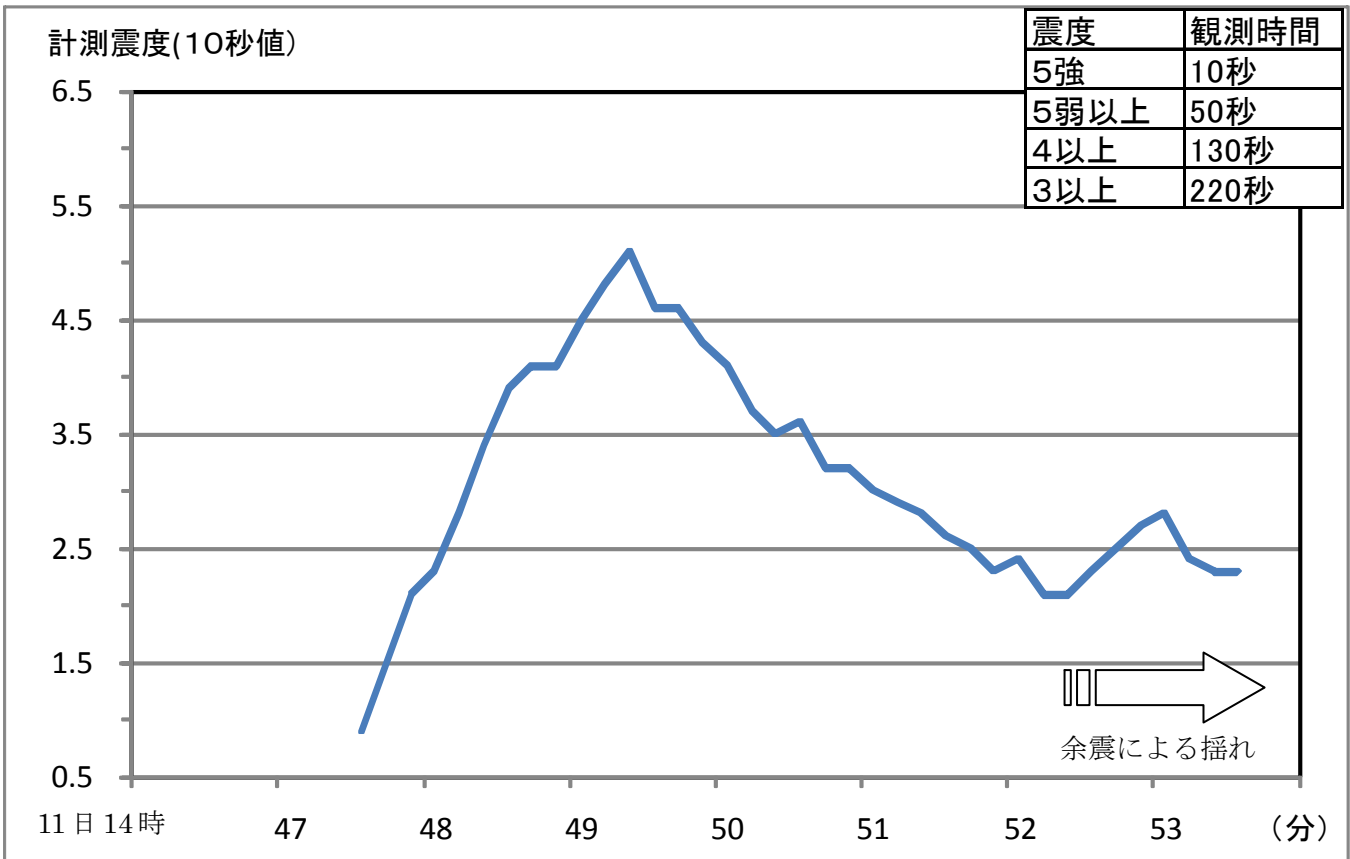
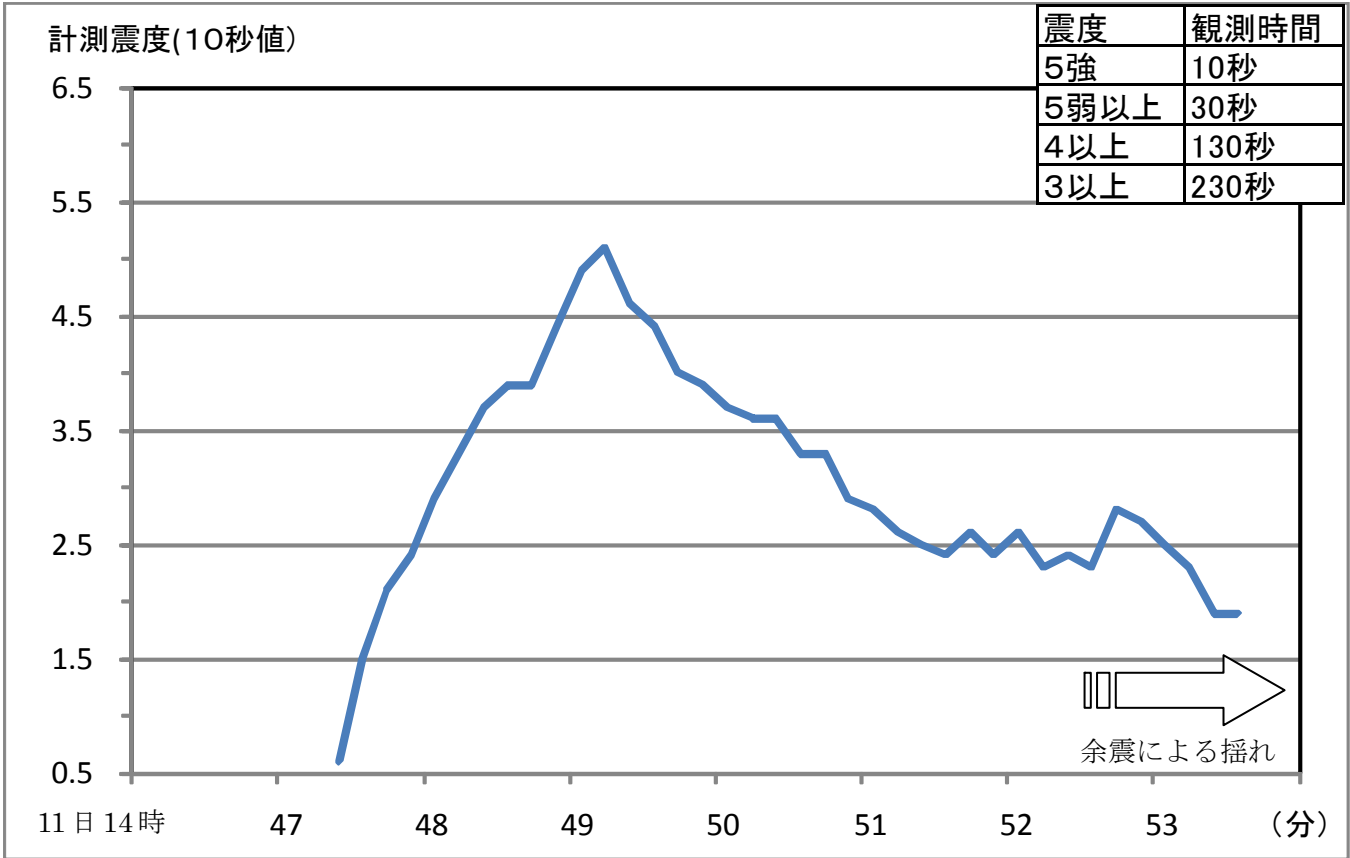


久喜市下早見 (くきししもはやみ)



千葉中央区中央港 (ちばちゅうおうくちゅうおうこう) 千葉特別地域気象観測所





## 過去の地震の例

